

地域とともにある小中一貫教育の推進 ～地域とともにある学校・学校とともにある地域づくりを目指して～

愛媛県大洲市		●活動名 平野小・中学校地域学校協働活動本部			●関係する学校名 大洲市立平野小学校 大洲市立平野中学校		
協働活動開始年度	平成 29 年度	学校運営協議会	指定・設置日 令和2年4月1日設置	地域学校協働本部	有		
活動区分	学校支援活動		地域課題解決学習	地域人材育成			
	—		放課後子供教室	—			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数	配置人数			
	—		—	4人			
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	無		
	188人	—	—	—	—		
参考URL	① https://hirano-iesnet.ed.jp ② https://hirano-esnet.ed.jp						
●連絡先	大洲市教育委員会 生涯学習課			☎ 0893-24-1735			



●【活動の経緯】
平成29年度に大洲市小中一貫教育推進モデル校の指定を受け、「平野小・中学校地域学校協働活動本部」を開設。平成30年度、「放課後子ども教室」開設。

●【活動の概要】
幼・小・中が同敷地内にあるという環境の中、①ふるさと学習を軸とし、系統性を重視した小中一貫教育の推進 ②義務教育9年間を連続した期間とらえ、発達段階に応じた一貫性のある指導の支援 ③学校・家庭・地域が今まで以上に連携・協働し、地域住民等の幅広い参画により、子どもたちの成長を支えることを目的として、様々な活動を実施している。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】
郷土学習を軸として、学校・地域・家庭が今まで以上に連携・協力し、子どもたちの成長とふるさと平野を愛する子どもを育てる学校目標のもと様々な活動を実施している。中学生は学校田の「徳馬田」で米作り。もみの消毒から始まり、苗を育て、田植えや草引き、肥料やり、稲刈り、脱穀、精米、販売までを年間をととして実施し、小学生も、田植えや稲刈り、餅つき体験、清掃体験、子ども祭りの手伝いなどの活動をしている。
また、小中連携の「ほたるプロジェクト」は、子どもたちから出たアイデアである。小学生がほたる祭りのお手伝いを、中学生が減少しているほたるを増やそうと養殖にチャレンジしている。専門的な部分は外部講師で対応している。

【実施に当たっての工夫】

- 地域コーディネーターが地域との連絡調整や人材確保、外部講師等の活用、新たな企画や調整を行うので、教職員の負担が軽減した。
- 広報誌「いころの里通信」発行により、「子どもたちの様子がよく分かる」と地域住民から好評を得ている。（学校HPIにも掲載）
- 毎年恒例の活動も多いが、新しいことにも、「どうしたらできるのか」を考え、地域と連携して取り組むので、住民も快く参加している。

【関係機関・団体等との連携状況】

学校運営協議会において、「平野地区で育てたい子ども像」について意見交換ができたことにより、目標の実現や課題解決についての共通意識をもつことができた。地域の団体や地元企業も、毎年の活動に積極的に協力している。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 子どもたちと触れ合う機会が増えることで、地域住民が今まで以上に学校教育諸活動に関心をもち学校支援に関わり、やりがいも感じている。また、広報誌等で周知することにより、新規のボランティアも増えている。
- 様々な活動の中で、子どもたちは自分たちが住んでいる地域の良さを再認識し、地域の中で自分たちができることは何かを考え行動できるようになった。中学生は、愛媛県発祥の「シラスリボンプロジェクト」に賛同し、いち早く活動を開始している。
- 放課後子ども教室では、文武両道の活動(俳句・音楽・バンスボール・習字)があり、子どもたちがバランスよく伸びていると感じる。特に俳句では、2つの大きな大会での上位入賞者が複数人あり、子どもたちの成長は素晴らしいと感じる。

● その他

小中連携の「ほたるプロジェクト」は、子どもたちから出たアイデアである。小学生がほたる祭りのお手伝いを、中学生が減少しているほたるを増やそうと養殖にチャレンジしている。専門的な部分は外部講師で対応している。



で稲毒中
を刈か学
終りら生
験、苗の
し脱育作
す、てり
。精、は
米田、
、植も
販えみ
売かの
まら消



み伝き毎
でい体年
す後験恒
。の。例
手。の
作。小
り。学
う。6
ど。年
ん。入
が。生
れ。の
楽。炭
し。焼